

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

令和3年3月11日（木）

【報告事項】

1 令和2年中の少年非行及び児童虐待の状況について

（生活安全部）

警察本部から「少年非行については、県内における刑法犯少年の検挙補導人員は1,159人、非行者率は2.5人でいずれも前年より減少し、過去最少となっている。特徴として、大麻乱用少年の検挙人員が増加し、SNSに起因する被害児童が減少している。児童虐待については、児童相談所に通告した児童数は5,924人で前年より817人増加し、事件検挙件数は177件で前年より28件の増加となっている。」旨の報告があった。

公安委員から「少年非行は年々減少傾向にあり、非行防止教室を始めとする各種取組の成果が表れていると思われる。非行の罪種別では窃盗犯が多いとのことであるが、その内容はどのようなものか。」旨の発言があり、警察本部から「万引きを始め、自転車盗やオートバイ盗が多い。引き続き、少年が初めて犯罪に手を染める初発型の非行を未然に防止するための広報啓発活動や立ち直り支援活動を強力に推進していく。」旨の説明があった。

公安委員から「児童相談所を始めとする行政機関の対応のみであれば、児童虐待の実態を正確に把握できない可能性があるため、今後も警察は行政機関との連携を密にし、行政機関から援助要請があれば、迅速に対応をお願いします。」「コロナ禍において家庭での時間が増え、児童虐待の潜在化が懸念されることから、引き続き関係機関との連携をお願いします。」旨の発言があり、警察本部から「他機関からの援助要請について積極的に対応することはもとより、関係機関との連携をより一層深め、情報共有を図りながら、児童の安全確保を最優先としての確に対処していきたい。」旨の説明があった。

公安委員から「今後とも、次世代を担っていく子どもたちの安全確保や健全育成に向けた効果的な取組の推進をお願いします。」旨の発言があった。

2 風営法違反事件被疑者の逮捕について

（生活安全部）

警察本部から「飯塚警察署ほか5警察署及び生活安全総務課は、3月7日、飯塚市所在の社交飲食店において、公安委員会の許可を受けずに風俗営業を営んだ風営法違反（無許可営業）事件について、田川市居住の飲食店経営の男性ほか1人を、また、飯塚市所在の社交飲食店において、公安委員会の許可を受けずに風俗営業を営むとともに18歳未満の者を客に接する業務に従事させた風営法違反（無許可営業及び年少者に対する禁止行為）事件について、嘉麻市居住の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「今回摘発した無許可営業の飲食店等からも暴力団へみかじめ料が流れているのか。」旨の発言があり、警察本部から「昨年飯塚地区で検挙している入管法違反事件や売春防止法違反事件において、暴力団の介在が明らかとなっており、当然、本件についても暴力団の関与があるものとして背後関係や資金の流れ等の捜査を徹底し、全容解明に努めていく。」旨の説明があった。

3 福岡県知事選挙違反取締本部の設置について

（刑事部）

警察本部から「福岡県知事選挙に伴い、3月15日、警察本部及び県下35警察署に

選挙違反取締本部を設置する。不偏不党かつ厳正公平な取締りに努めていく。」旨の報告があった。

公安委員から「公正な選挙の実現に向けて、適正な取締りを願います。」旨の発言があった。

4 外国人等による貨物自動車対象自動車盗事件の捜査終結について

(刑事部)

警察本部から「東警察署ほか8警察署、国際捜査課、地域課及び捜査第三課は、平成25年3月から令和2年8月までの間、本県及び大分県において、海外輸出目的で貨物自動車を盗んだ窃盗事件について、朝倉郡筑前町居住のペルー国籍の男性ほか6人を逮捕し、2県下における窃盗等97件、被害総額約9,800万円を確認した。」旨の報告があった。

公安委員から「被疑者らは、なぜ貨物自動車ばかりを狙ったのか。」旨の発言があり、警察本部から「海外の輸入国の需要により貨物自動車を狙ったものと思われる。」旨の説明があった。

公安委員から「本件は、長期にわたり、多数の所属が連携し、事件の全容解明が図られたものであり、賞賛に値する。今後も不良外国人による同種犯罪の発生が懸念されることから、徹底した取締りを願います。」旨の発言があり、警察本部から「本件は、広範囲にわたって散発的に発生したことなどから、全容解明に長期間を要している。今後も、悪質な窃盗事件については徹底して検挙していく。」旨の説明があった。